



サンタクロースの魔法の指輪

サンタクロースの右手中指には、純粋な金からできた魔法の指輪がはまっている。そしてそこにはサンタの夏の島に住む彫金師が腕に磨きをかけて彫ったAとPというイニシャルの鏡映文字がほどこされている。鏡映文字のおかげで、サンタクロースは手紙やそのほかの大切な書類に「サイン」をすることができるのだ。つまり、溶かした熱い封蝋に押し当てて自分のイニシャルで封をするのである。

イニシャルAとPは、サンタクロースがしばしば市中にいるときに必要に応じて使っている**ティモ・アラリク・パッカネン (Timo Alarik Pakkanen)** という名前から来ているものだ。

Aは、サンタクロースの太古からの名前**アラリク (Alarik)** からのもので、およそ1500年前のヨーロッパ大陸に住んでいた西ゴート族に由来する。祖父母の**テオデリク (Teoderik)** や**レムムンド (Rememund)**、父母の**エウリク (Eurik)** や**ラグナヒルダ (Ragnahilda)** 同様、サンタクロースも北欧に住むゲルマン民族の出身なのである。アラリクの名前の起源はゴート族の**アラレイクス (Alareiks)** つまり「すべての支配者」という意味だ。

ティモ (Timo) はギリシャ語の**ティモテウス (Timotheus)** という名前を略したもので、「神を恐れる」という意味がある。

パッカネン (Pakkanen) (訳者注: フィンランド語で「零下」の意) は、北欧の冬の気候を指しており、サンタクロースの住むフィンランドのラップランドにあるコルヴァウトゥウリ (耳の山) では一年の大部分がそうだ。

一説によると、サンタクロースはヨーロッパを席捲した三十年戦争が終わった年に生まれたという。遠い北の国でサンタクロースが生まれたその年1648年が、20以上に及ぶヨーロッパの国々、帝国、王国、公国、地方、植民地、さらに小さな連合国などが戦争終結のために締結したウェストファリア条約の署名につながるとは、まさしく彼は本物の平和の使者なのである。それこそクリスマスの魔法が必要だったのだ!

サンタクロースは、ふるさとフィンランドの独立記念日と同じ、仕事で忙しい時期の12月6日が誕生日である。とはいえ、フィンランドが独立したのは1917年で、サンタクロースが生まれて269年後だ。

そんなクリスマスの魔法を、サンタクロースは魔法の指輪を使って世界中に届けることができる。この指輪のおかげで彼には不思議な力があるのだが、それはサンタクロースの右手の中指にはまっているときにしか効力を発揮しない。指輪からあふれる魔法の力によって、サンタクロースはクリスマスの夜、そうクリスマスの夜にだけ、トナカイがひくプレゼントでいっぱいのにそりに乗って天空を駆け回ることができるのである。

さらにその指輪の魔法の力によってクリスマスの夜、そうクリスマスの夜にだけ、煙突のない家の壁に人が通れるだけの穴を開けることができ、秘密の訪問後はきれいに元に戻すこともできるのだ。

サンタクロースはそもそも煙突から入りたいとはあまり思っていない。煤で汚れてしまうから。それに比べたら、クリスマスイブに最も待たれている客人としてドアを叩いて訪問すれば、いつでも中に入れてもらえるというものである。

サンタクロースだけがこの魔法の指輪の不思議な力をコントロールできるが、年齢にかかわらず誰でもこの指輪を通じて特別な力を得ることができる。それはこんな風に非常に簡単だ:

サンタクロースの右手の中指にはまっている指輪に触れるだけで、その人は他の人に何か良いことをしてあげられる特別な力を授かるのである。
それこそ不思議な力ではないか!